

令和8年度（2026年度） 第1回コミュニティ交通部会 議事録

I 日時等

1. 日 時：令和8年（2026年）4月28日（火）午前10時00分～11時00分
2. 場 所：熊本市役所議会棟2階 議運・理事会室

II 主な内容

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 議事

- （1）A I デマンドタクシーのサービス拡充と運行継続のための運賃について

（事務局）

- ・ 資料1を用いて説明（A I デマンドタクシーのサービス拡充と運行継続のための運賃について）

（部会長）

- ・ ただいまA I デマンドタクシーのサービス拡充と運行継続のための運賃について事務局から説明があったが、質問、意見等はないか。

（委員）

- ・ 事務局から説明があった内容について、地域公共交通に関する特別委員会においても議論されていると認識しているが、本日のこの場で、ある程度運賃等について決定するということか。

（事務局）

- ・ 前回の特別委員会で様々な意見をいただいたところ。本会においてもご意見をいただき、再度特別委員会に諮ったうえで、地域公共交通会議による合意形成を経て許可申請となることから、本会は運賃等を決定する場ではなく、意見を伺う場である。

（委員）

- ・ 資料記載のとおり、今後A I デマンドタクシーのサービスを拡充していくうえで、運賃を上げることは重要であると認識している。ただ、これまで1日300円で病院への通院ができていたのが、往復1,000円かかるようになると、利用者にとっては非常に負担となるのではないかと。特別委員会においても運賃に関して様々な意見が出ていると思うが、運賃の決定は様々な意見を踏まえたうえで行っていただきたい。

(委員)

- 資料3ページのA I デマンドタクシーの位置づけ等について、バスと一般タクシーの中間にあるという説明があった。バスには定期券があると思うが、A I デマンドタクシーで定期券を導入する予定はあるか。また、運賃を考えていく際、燃料費や人件費をいくらで考えていくかということとのバランス感が重要なのではないか。そういった点も含めて持続可能性については検討していかなければならないのではないか。

(事務局)

- 現時点で定期券の導入は検討していない。他都市においては回数券等を導入している事例があることを確認しているため、他都市事例も参考にしつつ、今後もよりよい運賃体系の検討に努めてまいりたい。
- また、意見にあった持続可能性について、バス等の公共交通機関では人件費や燃料費の高騰等も踏まえた見直しを検討したところ。現在の運賃が、A I デマンドタクシー導入当初において利用促進を目的とした安価な設定となっており、持続可能なサービスの実現に向けては、サービス拡充による利便性向上とともに、サービスに応じた適正な運賃への見直しが必要であると考えている。

(委員)

- 利用者にとっては、運賃は安ければ安いほど助かると思うが、その運行サービスを受けられるコミュニティ交通の対象地域の決定は何を根拠として行っているのか。

(事務局)

- 公共交通空白地域・不便地域の定義については、本市の公共交通基本条例において定めている。
- コミュニティ交通を導入する際は、市側からの提案だけでなく、地域との合意形成が非常に重要となってくる。比較的限られた地域での運行となる乗合タクシーは、町内自治会を一つの単位としており、A I デマンドタクシーは、比較的広域での運行となるため、町内自治会よりも大きい範囲の校区単位を目安とすることを、コミュニティ交通の導入基準で定めている。

(委員)

- まず、運賃の改定案については心から感謝を申し上げたい。運行継続に向けては適正な運賃設定が必要であると考えている。現在の運賃は、利用者にとって非常にリーズナブルなもので外出しやすくなるという点で良いかもしれないが、その反面A I デマンドタクシーの動きが大きくなると、その地域の一般タクシーの運行が少なくなってしまう。A I デマンドタクシーの運行が開始されて以降、運行地域では一般タクシーの運行が減少していた。

- それでも、地域の方の外出機会の確保は非常に大切であると考えているため、タクシー協会としても、地域の事業者としても協力をしている状況。ただ、A I デマンドタクシー運行に対する対価は通常の運賃よりも安価であるというのが正直なところ。タクシーの燃料であるオートガスの価格も、最近の原油価格高騰に連動して上昇しており、営業的には非常に困難な状況が今後も継続していくと考えている。
- そのため、コミュニティ交通の運行継続について協議をしていく中で、タクシー事業者への対価の部分についても、運賃の見直しとは別に今後考えていただきたい。利用者には、“安さ”ではなく、“利便性の良さ”を認識いただきたいので、そういった周知等をお願いしたい。

(委員)

- 運賃の見直しについて、現在の 300 円から上がるという内容が独り歩きしている印象。実際値上がりを懸念する意見を伺っている。現在の運賃は導入当初の利用促進を目的とした運賃であることをしっかり説明していただきたい。
- 現在A I デマンドタクシーを運行している地域は非常に便利。例えば龍田西地域など、他にも移動が不便な地域は多数存在していると認識している。そういった地域の方々は普段移動に一般タクシーを利用しているので 500 円でも安い。資料にあるように、移動手段に応じた運賃への見直しの必要性を理解してもらわなければならない。
- 現在は利用者のおよそ 9 割が割引運賃で利用しているということであり、他都市事例も踏まえながら、この割引制度の維持が重要であることもしっかり説明していただきたい。

(事務局)

- ご意見のとおり、運賃改定の必要性や現在の安価な運賃の背景など、地域説明を行う際は丁寧に伝えていきたい。
- また、タクシー事業者の売り上げが落ちているという話を伺った。コミュニティ交通の運行はタクシー事業者の協力によって成り立っており、タクシー事業者との共存も踏まえ、地域に丁寧な説明を行っていきたい。

(委員)

- 他都市の事例について、宇土市では運行距離の違いによって運賃が決まるとの記載があるが、こういった仕組みなのか。

(事務局)

- 距離で地区ごとに線引きをして運賃を決定しているものと認識している。

(委員)

- 長い距離を乗ると運賃が高くなるという運賃設定は、利用者は当たり前に感じられてい

と思う。熊本市においても距離に応じた運賃設定を検討して良いのではないかな。

(事務局)

- ・ 運行距離に応じた運賃設定は、現在導入中のシステムでは対応できないが、今後のシステム更新等のタイミング等にあわせて、導入可能性を検討していきたい。

(委員)

- ・ 運行便数について、平日最大 50 便、土曜日は最大 15 便という記載があるが、予約が埋まった時点でその日の運行はそれ以上追加できないということか。

(事務局)

- ・ お見込みのとおり。A I デマンドタクシーは予約に応じた運行を行っているため、予約枠が全て埋まった際はそれ以降予約が出来ない仕組みとなっている。なお、平日は最大 3 台、土曜日は常時 1 台の運行のため、最大運行便数に差がある。

(部会長)

- ・ A I デマンドタクシーの現在の運賃が安すぎるというのは委員の皆様も共通認識なのではないか。ただ、運賃が上がった際の利用数想定について想定通りになるか疑問を感じている。運賃が上がったことで利用控えが起こり、結果として運行台数を増やす必要がなかったといった状況になる可能性もあると認識しているが、事務局の考えを伺いたい。

(事務局)

- ・ 運賃見直しで利用を控える方がいらっしゃる可能性はあるものと考えているが、運行台数追加による利用想定は、現在の運行に置いて予約できなかった実績も考慮し算出しており、予約の取りづらさの解消や利用機会の公平性の確保につながり、より多くの方に利用いただけることを期待している。

(部会長)

- ・ 先程、現在の運賃設定は導入当初の利用促進が目的という説明があったが、これから導入される富合・城南地区では、最初から値上げ後の運賃で導入されることとなる。そこに対する手当的なものは検討しているのか。

(事務局)

- ・ 新規導入地域に対しては、A I デマンドタクシーの特徴や利便性ととともに、他の移動手段との違い等を踏まえた運賃設定や具体的な利用方法などについて、丁寧に説明を行ってまいりたい。

(委員)

- ・ 資料に記載のある国のフィーダー補助は、政令指定都市でも交付対象となるのか。
- ・ また、運賃の割引対象について、障がい者でなくとも頻繁に通院が必要な方などを、救いの手という意味で割引対象として捉えることはできないか。

(事務局)

- ・ 国のフィーダー補助は、所定の要件を満たす場合は、政令指定都市であっても対象となることを確認している。
- ・ 障がい者の方以外にも高齢者や免許返納者への割引を実施しており、これらを継続しながら、ご提案の内容も含め総合的に検討していきたい。

(部会長)

- ・ 現在のシステムでは距離制運賃の導入は難しいということだったが、現在の契約はいつまでなのか、また更新の予定はあるか。

(事務局)

- ・ 現在の契約は令和9年9月までを予定している。更新の際は、本日提案のあった内容も含め、より良い運行サービスを提供できるように検討していきたい。

・

(部会長)

- ・ 色々と課題はあると思うが、新たに導入する地域の方々のために着実に準備を進め、サービス導入によるより良い市民生活実現のために引き続き尽力いただきたい。また、システム更新にあたっては、これまでの実績等を踏まえ、利用者目線に立ったシステムの導入を検討していただきたい。
- ・ 他にご意見等ないので、本日の議事を終了とする。